

日本小児科学会医療安全委員会主催

第9回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2019年2月16日（土）13：30～17：00

開催場所：東京医科大学

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6—7—1

参加費：11,000 円（1施設あたり）

参加者数：37 名（12 施設）

目的：「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師 12 名，看護師 13 名，放射線技師 12 名（各施設：3 職種 1 組で参加）

参加施設：東京慈恵会医科大学附属病院，東京女子医科大学附属八千代医療センター，埼玉医科大学総合医療センター，磐田市立総合病院，浜松医療センター，SUBARU 健康保険組合太田記念病院，済生会横浜市東部病院，東京都立大塚病院，中東遠総合医療センター，東京都立小児総合医療センター，埼玉県立小児医療センター，国立病院機構 相模原病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（実践型訓練と振り返り，他施設との比較検討）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表，全体で意見交換）

コースの実際：従来通り4部構成の3.5時間コースで開催した。第1部は全員に座学形式で共同提言の要点を伝える場とした。第2部は4グループに分かれて，シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師，看護師，放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い，振り返りの場で，自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は，自施設の改善したい課題を1～2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は，各施設のアクションプランを中心に発表し，参加者全員で討議を行った。本コースを通して，他施設の現状を知ることによって自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.31（6点満点），「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.41（同），「多職種での参加は良かったか？」5.69（同）であった。自由記載では，多職種/多施設での意見交換が大変参考になったし，楽しく学べたと複数の声があった。またコースを通して，自施設の問題点が明らかになり，改善する意欲につながったという意見も多数あった。コースの内容に，症例検討や施設の取り組み紹介などの提示を希望する声もあった。

コース運営と今後の取り組み：①第10回 SECURE コースは2019年7月20日に大阪医科大学で開催予定（関連施設の医療安全委員会宛に通知予定）また今年度は東北地区での開催を計画中。②2019年夏～秋を目標に「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」の改訂作業を行っている。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98